

2026年5月21日

各位

会社名 日本伸銅株式会社  
代表者名 代表取締役社長 高倉英朗  
(コード番号 5753 スタンダード市場)  
問合せ先 取締役管理統括部長 木本道隆  
電話番号 072-229-0346 (代)

## 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応のアップデートについて

当社は、2025年5月20日に公表いたしました「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について、現状の評価・分析や取り組みの進捗状況等を踏まえ、内容をアップデートしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 現状評価

	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期
売上高 (百万円)	26,137	27,242	23,338	26,122	30,145
営業利益 (百万円)	2,365	1,591	1,200	1,835	2,694
経常利益 (百万円)	1,503	1,505	801	1,413	1,028
当期純利益 (百万円)	1,058	1,031	555	964	742
1株当たり純資産額 (円)	4,268.30	4,822.16	5,113.31	5,572.89	5,948.06
1株当たり当期純利益金額 (円)	463.21	473.86	259.86	451.37	347.23
自己資本比率 (%)	61.3	67.2	73.0	72.3	68.7
ROE (%)	11.7	10.4	5.2	8.4	6.0
PER (倍)	4.2	4.3	7.6	4.9	7.2
株価 (3月末) (円)	1,956	2,051	1,969	2,210	2,498
PBR (倍)	0.46	0.43	0.39	0.40	0.42

当社の2026年3月期におけるROEは6.0%となり、PBRは2026年3月末時点で0.42倍となっております。

伸銅品の販売数量の増加（前年同期比+6.3%）および銅相場の高値推移により増収、また原料相場差益の発生により営業利益は増益となりました。一方で、銅相場の変動リスクをヘッジするためのデリバティブ取引に係る損失を計上したことにより、経常利益および当期純利益は減益となり、結果としてROEは低下いたしました。

当社のPBRが1倍を下回る水準で推移している要因としては、収益力および資本効率に対する市場評価に加え、過去における内部留保の蓄積が不十分であったことから、安定的な成長投資や株主還元に対する期待が十分に織り込まれていない点が挙げられると認識しております。

## 2. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた方針

当社は、資本効率の改善および市場評価の向上を重要経営課題と位置付け、以下の施策に取り組んでまいります。

### (1) 収益力の強化 (ROE 向上)

- ・ 兄弟会社であるサンエツ金属株式会社および三谷伸銅株式会社との連携強化による生産技術・ノウハウの共有を通じた高付加価値製品の拡充
- ・ 原材料・副資材を兄弟会社と共同購買することによる調達コストの低減

### (2) 成長投資と株主還元の両立

- ・ 将来の設備投資および M&A に備えた内部留保の充実
- ・ 収益成長に応じた安定的かつ持続的な配当の実施 (当面は収益力の向上および財務基盤の強化を優先)

## 3. 中長期的な目標

上記施策の着実な実行により、収益力および資本効率の向上を図り、PBR1 倍以上の実現を目指してまいります。

以上